

平成26年度 ステージⅡ（職務領域拡充期）研修レポート

10月3日（金）宇都宮市の富屋地区市民センターにて、採用4～9年目を対象に、平成26年度ステージⅡ（職務領域拡充期）研修を開催しました。この研修は栃事研の「研修の体系化」に基づいて実施しており、今回は45名の方が参加しました。

講師に千葉県成田市立公津の杜中学校 三浦 由起子事務長様をお招きし、講義・演習を行いました。また、参加者を経験年数ごとに8グループにわけ、学校組織マネジメント指導者養成研修に参加された方等に各グループのサポーターをお願いしました。



《オリエンテーション・自己紹介》

講師から、本日の研修のめあて「組織マネジメントの必要性を理解すること」「自校の教育目標や重点課題を理解し、職務領域を広げることで、組織目標を達成する実践力を高めること」や、研修のポイントについてのオリエンテーションが行われ、その後、演習にはいりました。「自分が頑張っていること」を交え、1人2分で自己紹介を行いました。各メンバーは一人一人の話を聞き、相手の良いところを発見し、「いいね!」と思ったことをふせんに書き、それらを集めて、各グループのアピール用紙を作成しました。

《講義》

社会の変化に伴い教育改革が行われる中で、学校の組織力を高めるためには、学校にもマネジメントの考え方や手法を導入する必要があること、また学校組織が「自らが変化し続ける」ためには、問題点に気づき課題を明確化し、具体的な解決策によって行動する、そして振り返ることが大切であるということを学びました。



《演習「自己資源マップをつくろう！」》

休憩をはさみ、自己資源マップの作成を行いました。自らの強み・弱みを書き出し、自己分析を行いました。また、自分の周囲の人々を、「サポーター」「ファミリー」「隣人」「圏外人」の4つのグループに分類することで、自らを取り巻く人的資源の構造を把握しました。



《演習「自分も学校もマネジメントしよう！」》

午後は演習を中心とした研修が行われました。

Action シート①(事前課題)をもとに、1人3分で、学校紹介を行い、その後、「学校の中で発見したこと」を6つの観点(学校教育・教育目標・教育課程・財務・安全安心・地域学区)に分類し、意見交換を行いながら、グループで1枚のシートを作成しました。各校の特色や、視点の違いや考え方など、新たな気づきにつながり、活発な意見交換が行われました。

次に、それぞれの学校で「学校全体で頑張っていること」に、自分はどのように関わっているか、新たに取り組みたいことは何か、どのようにしたら関わっていけば良いのかについて個人で考えた後、グループで紹介しあいました。グループで1つの事例を取り上げ、職員会議で提案することを前提に具体策を検討しました。学校の実践事例を取り上げたため、課題を身近に感じ、共有することができました。また、メンバー全員で考えることにより、自分では気づかなかった点を発見することもできました。演習の最後には、各グループで苦労を重ねて作成した具対策について発表しました。



《研修の振り返り》

本日のまとめとして、Action シート②(振り返り)を記入し、グループ内で今日一日の振り返りを行いました。組織マネジメントとは何か、自らを知り、周囲の環境を知り、その中で自分がどのような働きができるのか、今回の研修のキーワードであった「つながる一つなぐ一つなげる」を講義や演習を通して考え、感じることができました。

参加者には5ヶ月後の2月末に、Action シート③(事後レポート)を提出していただきます。これは、今回研修で行った自己資源マップを、時期を変えて作成し、研修時との違いについて感じたことを記入したり、新たに取り組みたい具体策を実践したか等についてまとめることにより、研修が学校現場で生かされているかを検証するものです。

参加者のこれからの取組に期待しています。